

県広報

とやま

エッセイ/佐々 学

「理想郷土実現への道」——表紙2

ことしの地価公示——P16

TRIP県政

富山はいつも花いっぱい——P18

ふるさとみである記

滑川市——P20

《新シリーズ》とやま心集I

まちなみ——表紙3

21世紀に向けて新たな気流を

《昭和63年度富山紫子算》



富山の風土をモチーフとして

木崎さと子さん芸術選奨新人賞受賞



※「沈める寺」に登場する氷見市の大銀杏

木崎さんの作品の中から、新しい富山のイメージが生まれ出てきそうです。

演劇、映画、文学などの各分野で昨年一年間に優れた業績をあげた人に贈られる昭和六十二年度芸術選奨。その文学部門新人賞に作家の木崎さと子さん（富山県イメージディレクター）が選ばれました。

小学校五年生から高岡高校卒業までの八年間を高岡市で過ごした木崎さんは、昭和六十一年高岡を舞台にした小説「青桐」で芥川賞を受賞。今回の受賞作品「沈める寺」も氷見市内の浄土真宗の大寺がモデルとなっています。

この作品は、地元の人々の協力も得て、一年の夏から約一年間をかけて氷見の歴史・風土を取材して書き上げた長編で、それだけに受賞の喜びもひとしおとか。

「外国（フランス）暮らしの長い私には、富山は三二日本に思えます。地形や風土、人々の気質など、日本の典型的なものが圧縮されていて、文学の舞台としても興味深く思います。これからも自然と文化がせめぎあう富山の風土を舞台に、本当の人間らしさとは何かを書いていきたいです。」という木崎さん。

※「沈める寺」の構想を練った寺で



理想郷土実現への道

中沖知事の年頭あいさつにもあったように、富山県を日本の「健康・スポーツ県」、「花と緑の県」、「科学・文化の県」にしようという意気込みは、私ももにとっても大変張り合いのある、励みに満ちた主張であることが嬉しい。それならば、どうしたらそれが実現できるか、それを私もは考え、また富山の皆様に問いかけたい。たとえば、花と緑にしようとしても、それは沢山の植物の種類がある。そのどれが富山の風土に適しているか、それを選んでゆく必要がある。これまでの富山でのやり方を見ていると、緑化とは芝生に松の木をうえることだと思っ

ている担当者が多い。私はそうでなくて、太古の昔、まだ人間が富山平野を耕していなかった時代にどんな草や樹木が生えていたか、その原生林を復元することが風土にあった緑化だと思

う。だが、それは今の植物学者でも分からないこともかもしれない。それならば、何種類かの植物の組合せを実験して見て、その結果から一番有望なものを選ぶということ、それが自然科学の定石なのである。

「科学・文化の日本一」、それも望ましい。だが、日本の人口のわずか1%しかない富山県で、全部の科学、文化で日本一になろうということはもちろん出来ない。そこで、東京や大阪や京都ではできない、いや金沢でもできない科学と文化は何か、それをまず考えて、その分野で日本はあるか、世界中でもでき

ないことを実現しよう。たとえば、私の大学がとりくんでいる和漢薬、伝統医薬学など、その最たるものであろう。その勉強のためにすでに五十人をこえる留学生が来ておられる。その人たちは富山は暖かく迎え入れて戴きたい。科学や文化での個々の仕事は大へん狭くかつ鋭いものである。たとえば、私は富山でいまスリカという虫どもの研究に没頭しているが、それは昆虫類という大家族の中に何千とある科のなかの一つにすぎないが、それでも日本に何百種類も見つかり、富山で発見した新種の数だけでもすでに、三十をこえた。それが、水の汚染の指標生物として大変役立つことや、水の浄化者として重要な益虫だということも見つけた。だがその反面、その虫のおびただしい量の死骸が気管支ぜん息という難病の原因にもなっていることが富山で発見された。こうしたささやかでも、独創性のある研究の積み重ねが富山の文化を向上させていく原動力になる。

率直に言って、富山の方々、とくにお役所に勤めている皆様の多くは、意気込みはあっても知識や技術が不十分であったりする。その理想の実現に向ってもっと勉強と研究を重ねて戴きたい。とくに大切なのは、これはよさそうだと思うことが必ずしもその通りにならない。それを予測して、違った方式での比較実験をして、その中での最低条件をさがし出すという、実験科学の定石をもっと取り入れてゆくことをおすすしたい。

前・富山医科薬科大学学長 佐々 学

エッセイ



「'88富山の美術」開催 ~4月10日まで



県内在住や県と深いかわりを持つ作家の作品を紹介する「'88富山の美術」が県立近代美術館で開かれています。現在すぐれた創作活動を続けている三十一名の作家を選抜、招待した企画展で、今回が四回目。日本画、洋画、染織、写真、彫刻など幅広いジャンルにわたる意欲作九十点が展示されています。郷土美術の枠にとられない広がり可能性を感じさせるこの展覧会は、四月十日まで開かれています。



「2000年国体」へゴーサイン 本格的準備を開始

西暦二〇〇〇年（昭和七十五年）国民体育大会の富山県での開催が事実上決定しました。

これは、国体開催申請書の提出順位が、三月九日の日本体育協合理事会で承認されたことによるもので、夏季・秋季大会の富山県での開催は、昭和三十三年の第十三回大会以来二回目、記念すべき西暦二〇〇〇年国体に向けて、いよいよ本格的な準備が始まります。

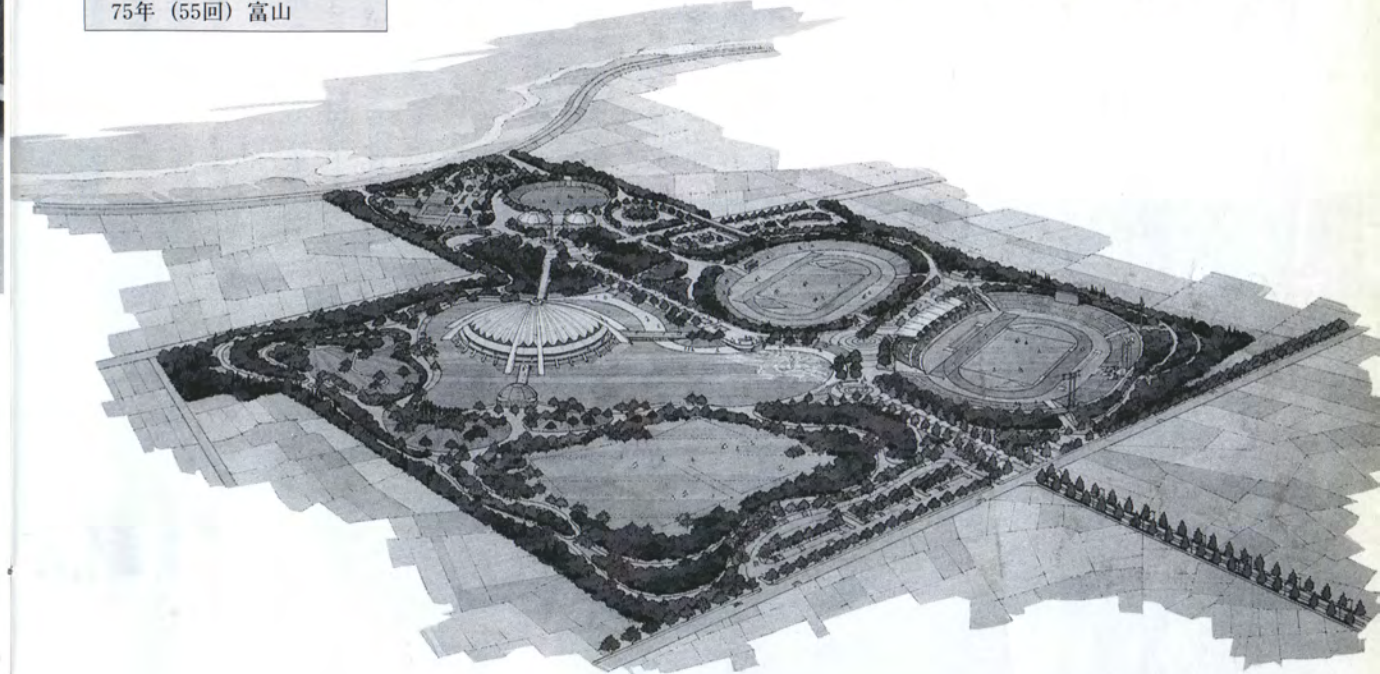
国体のメイン会場となるのは、富山市新保地区に建設を計画中の県総合運動公園。今年度は用地取得を完了し、一部造成工事に着手する予定です。

また、十九種目の競技指導者をスポーツアドバイザーとして招き、選手強化計画を進めるほか、小学校低学年を対象としたスポーツ教室を開催するなど、競技力向上への取り組みも進めています。

*国体の開催は、五年前に内定、三年前に正式決定されます。

開催申請書提出順序の承認は、準備面などを考慮して十年ほど前に「内々定」をするシステムです。

63年以降の国体開催地		
63年	(43回)	京都
64年	(44回)	北海道
65年	(45回)	福岡
66年	(46回)	石川
67年	(47回)	山形
68年	(48回)	香川・徳島
69年	(49回)	愛知
70年	(50回)	福島
71年	(51回)	広島
72年	(52回)	大阪
73年	(53回)	神奈川
74年	(54回)	熊本
75年	(55回)	富山



21世紀に向けて 新たな気流を



昭和63年度
富山県予算



今日、首都圏への求心力が日増しに強まるなかで、多極分散化を実現するためには、それぞれの地域が交流を深めながら、独特の個性を持つ魅力的な顔づくりを競いあうことが大切です。まさに、地方は、「交流と競争の時代」を迎えています。

地域の顔づくりの主役は、県民であり、創造性と進取の気性に富んだ県民が主体となって、知恵を出し、汗を流していくことがその基本です。富山県の優れた特性や未来に向かう新しい気流を生かし、育て、全国に誇りうる魅力ある顔づくりを進めていくことが私たちの責務です。

富山県は、もの豊かさに恵まれるとともに、県民一人ひとりの心に幸せが満ちるような、心の富が山とある県にならなければなりません。

ここでは、県政推進の基本となる昭和六十三年度予算の概要をお知らせします。

◎予算の概要

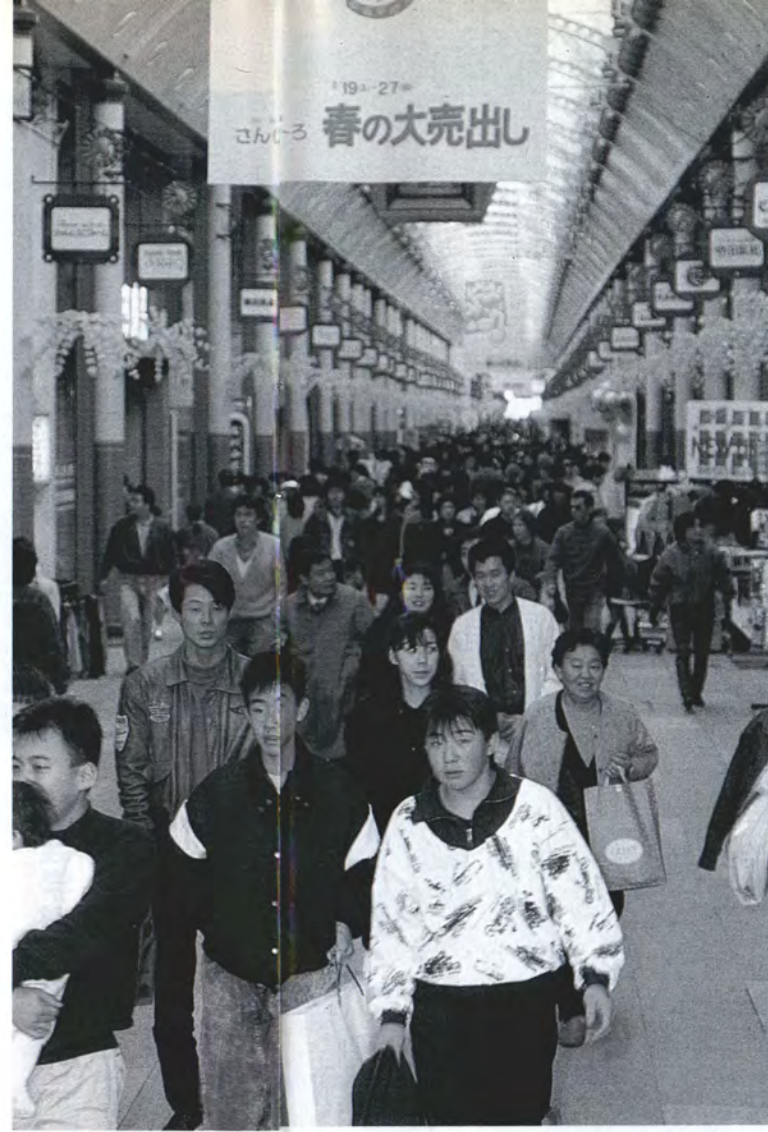
昭和六十三年年度予算は、一般会計で四、〇六一億八、九九八万円、昨年度当初に比べ七・八パーセントの伸びとなっています。

最近の日本経済は、個人収支が堅調に推移し、民間投資、公的投資ともに増加するなど、内需は増加を続け、景気回復から拡大局面へと移行しています。また、鉱工業生産も増加し、雇用情勢も改善しています。

このような経済情勢のなかで昭和六十三年年度予算は、県民総合計画の着実な進展に努め、富山県の発展と県民生活の向上を図ることを基本としています。

このため、財源の確保を図るとともに、歳出の合理化、効率化を図り、最少の経費で最大の効果が得られるよう配慮しました。また、新しい県民ニーズにもこたえ、創意と工夫をこらし、厳しさのなかにも可能なかぎり積極性のある予算となるよう努め、県民の皆さんが夢と希望をもてるよう最大限の努力を払っています。





昭和63年度 一般会計歳出予算目的別調 (単位 千円)

区 分	63年度 予算額 A	62年度 当初予算額 B	比較増減 (A-B)	対前年度 当初伸率 %	構 成 比 %
議 会 費	1,035,447	986,820	48,627	4.9	0.3
総 務 費	15,674,063	14,616,748	1,057,315	7.2	3.9
民 生 費	18,107,262	16,840,471	1,266,791	7.5	4.5
衛 生 費	17,589,196	17,189,077	400,119	2.3	4.3
労 働 費	3,077,867	3,232,462	△ 154,595	△ 4.8	0.8
農 林 水 産 業 費	60,162,548	54,631,528	5,531,020	10.1	14.8
商 工 費	18,402,144	17,203,639	1,198,505	7.0	4.5
土 木 費	97,589,942	82,358,421	15,231,521	18.5	24.0
警 察 費	18,773,614	18,414,232	359,382	2.0	4.6
教 育 費	99,088,369	98,973,107	115,262	0.1	24.4
災 害 復 旧 費	3,384,743	3,602,522	△ 217,779	△ 6.0	0.8
公 債 費	48,530,376	45,003,859	3,526,517	7.8	11.9
諸 支 出 金	4,574,409	3,495,989	1,078,420	30.8	1.1
予 備 費	200,000	200,000	0	0.0	0.1
合 計	406,189,980	376,748,875	29,441,105	7.8	100.0

昭和63年度 富山県予算

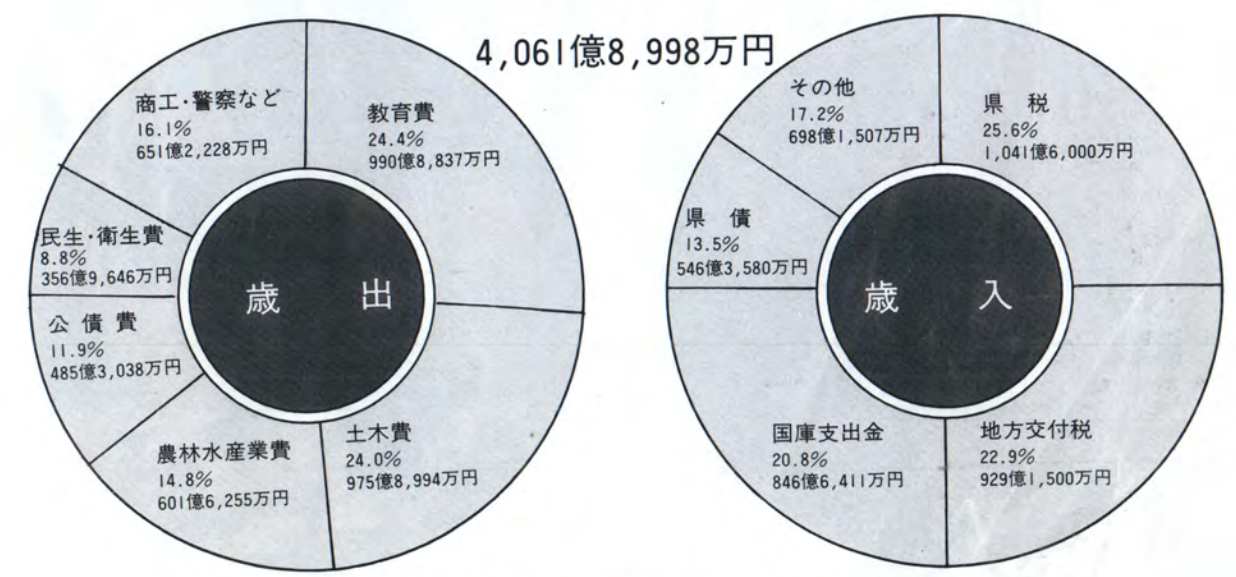
区 分	予 算 額	対前年度 当初伸率
	千円	%
一 般 会 計	406,189,980	7.8
特 別 会 計	23,736,039	6.5
計(普通会計)	429,926,019	7.7
収 益 会 計	16,072,163	△14.3
企 業 会 計	29,686,529	11.7
合 計	475,684,711	7.0

昭和63年度 一般会計歳入見積額調 (単位 千円)

区 分	63年度 予算額 A	62年度 当初予算額 B	比較増減 (A-B)	対前年度 当初伸率 %	構 成 比 %
県 税	104,160,000	91,353,000	12,807,000	14.0	25.6
地 方 譲 与 税	2,879,000	3,549,000	△ 670,000	△18.9	0.7
地 方 交 付 税	92,915,000	86,947,000	5,968,000	6.9	22.9
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	543,000	524,000	19,000	3.6	0.1
分 担 金 及 び 負 担 金	7,106,346	6,303,479	802,867	12.7	1.8
使 用 料 及 び 手 数 料	11,280,607	10,857,792	422,815	3.9	2.8
国 庫 支 出 金	84,664,114	86,498,066	△ 1,833,952	△ 2.1	20.8
繰 入 金	10,991,517	7,862,432	3,129,085	39.8	2.7
県 債	54,635,798 (44,532,000)	46,799,000	7,836,798	16.7 (△ 4.8)	13.5 (11.0)
諸 収 入 ・ そ の 他	37,014,598	36,055,106	959,492	2.7	9.1
歳 入 合 計	406,189,980	376,748,875	29,441,105	7.8	100.0

(注) ()書きは、特定資金公共事業債(いわゆるNTT債)を除いた場合

昭和63年度 一般会計歳入・歳出予算額



(注) 特定資金公共事業債(いわゆるNTT債)を除いた場合、県債は11.0%、445億3,200万円

明日を拓く 人びと



健康づくり

県民ヘルスプランを推進し、家庭や地域での健康づくりを進めるとともに、新たに学校健康づくり推進事業を行うなど、県民総ぐるみの健康づくり運動を展開していきます。

スポーツ・レクリエーションの振興については、生涯スポーツプランを推進し、とくに昭和六十九年のインターハイや昭和七十五年の二十年国体の本県開催の準備を進めます。

このため、総合運動公園の用地取得を完了し、造成に取りかかるとともに、競技水準の向上を図るため、スポーツアドバイザー制度を創設するなど選手強化計画を推進します。

疾病予防対策としては、胃がん検診車や乳がん検診車の整備を引き続き行うほか、新たに大腸がん検診を実施するなど、がん対策の充実を図ります。

医療の確保については、県立中央病院の改築整備のための実施設計に着手するほか、デジタルX線画像診断装置を設置します。また、地域医療計画を策定するほか、市町村の国民健康保険事業について、新たに保険料軽減制度や高額医療費共同事業に助成をします。



ヤング創造フェスティバル

習の総合的な推進を図ります。

学校教育については、生徒の急増等にもなう既設校の増改築や体育館、運動場などの整備を進めます。

県立大学については、先般、策定した基本構想にもとづき、優れた教員の確保を図るとともに、用地の造成や施設の実施設計に着手するなど、昭和六十五年四月の学生受け入れをめざして準備を進めます。

また、私立高岡大学（仮称）の建設に助成するなど高等教育機関の整備に努めます。

さらに、図書館ネットワークの形成を促進するため県立図書館にコンピュータシステムの導入を進めます。

社会福祉の充実

福祉と保健を総合的に推進するため、富山県福祉保健推進連絡会議を設置するほか、ボランティア基金を増額するなどボランティア活動の基盤強化を図ります。

高齢者に対する施策としては、新たに高齢者総合相談事業を実施するほか、特別養護老人ホームの計画的な整備を図るとともに、県立流杉老人ホームの全面改築に取りかかります。また、ねたきりや痴呆等の在宅要介護老人のために、ねたきり老人家庭等のねぎらい事業の充実を図るとともに、デイ・サービス施設や在宅老人通所デイ・ホーム事業に対する助成を拡充します。

障害のある方に対する施策としては、県立砺波学園を改築整備し、新たに重度棟を設けるほか、精神薄弱者更生施設や身体障害者更生援護施設を増改築整備に対し助成をします。

児童や母子の福祉については、新たに児童と老人との交流を図る児童館ふれあい事業等に対し助成をします。

生涯学習の推進

今年十月に、県民総合大学校（仮称）を開校し、学習情報の提供、放送講座や専門講座などの開設、自主的学習活動の奨励援助など生涯学習を進めます。

文化の県づくり

立山博物館については、施設の実施設計に着手するとともに、映像ソフトの制作や環境整備を行うなど、昭和六十五年の開館に向け準備を進めます。

また、県立近代美術館で第二回世界ポスター・トリエンナーレトヤマ展等を開催するほか、衛星中継による演劇放映など、各種芸術文化活動に助成し、芸術鑑賞機会の増大や創作活動の支援に努めます。



近代美術館企画展

若者と婦人の力を社会に

家庭、学校、地域社会が一体となって青少年健全育成運動を進めるほか、ふれあいの船や高校生の海洋教室を実施します。

婦人については、二十一世紀をめざすとやま女性プランにもとづき、婦人問題の啓発や就労婦人施策などを進めるほか、婦人週間四十周年を記念する富山県婦人週間の集いを開催します。

昭和63年度
今年の事業から

高齢者総合相談センター （仮称）

高齢化社会の進行に伴い、お年寄りやそのご家族の方々が抱える心配ごとや悩みごとが一層増加し、多様化しています。

これらの心配ごとや悩みごとの相談に応じたり、県民のみなさんに高齢者についての各種情報を提供する機関として、高齢者総合相談センター（仮称）を設置します。

このセンターでは次のような事業を行います。

- ① 高齢者に関する福祉・保健・医療など各種の心配ごとや悩みごとに、専門相談員（弁護士・医師・税理士など）が電話や面接で気軽に相談に応じます。
 - ② 高齢者に関する各種の情報を機関紙などで定期的に提供します。
 - ③ 市町村の相談体制に対して必要な情報を提供するとともに研修等を実施します。
- なお、このセンターは富山県社会福祉会館の一階に開設する予定です。

県民総合大学校（仮称）

県民がそれぞれの個性に応じた自発的な学習活動や、ボランティア活動を通じて、磨かれた知性と人間性を身につけるため、いつでも、どこでも、なんでも学ぶことができる拠点として、十月に県民総合大学校が発足します。

学習情報をネットワーク化し、指導者の養成、学習相談、視聴覚ライブラリーの充実など、気軽に学ぶことのできる環境づくりを進めます。更に、学習団体の主体的な学習活動を奨励するとともに、学習者自身の学習歴が記録できるようにして、関心を促します。

講座については、講演会形式の夏季・晩天・創造性開発講座を従来通り続けるほか、自宅で学習できる放送講座も設けます。また、専門的な知識技術を得得できる専門講座も設けて内容の充実を図ります。



魅力ある 郷土づくり



快適な暮らしの実現

富山型の家族・地域社会像を考えるフォーラムを開催するなど、心のふれあうふるさとづくりに努めます。

また、県民生活の安全と平穏を確保するため、少年非行防止、交通事故防止など地域に密着した警察活動を充実するとともに、緊急配備表示システムの導入など装備機材の強化を図ります。消防、防災対策については、本県防災行政無線再整備の基本計画を策定するとともに、新たに河川情報システムの整備に取り組みます。生活環境の保全を図るため、引き続き公害の監視に努めるほか、大気環境管理計画の見直しや環境情報監視システムの調査などを進めます。花と緑の県づくりを進めるため、花と緑の銀行事業を充実するほか、新たに富山空港等での花ごよみ花壇の設置や花の名所の選定など、緑花事業を展開します。

また、植物公園基本構想を策定するとともに、「とやま森林浴の森」の環境整備に対する助成を拡充します。

魅力ある地域づくり

全国的にも魅力のある総合保養地域を整備するため、開発調査を進めるとともに、基本構想

の策定に取り組みます。また、地域の特性を生かした魅力あるふるさとづくりを進めるため、立山山麓の一体的整備や県中央丘陵部の開発構想を推進します。

まちづくりモデル事業や都市景観づくり推進事業を引き続き実施するとともに、新たに夜間都市景観形成事業に取り組みなど、魅力あるまちづくりを一層進めます。

雪対策については、総合雪対策基本計画にもとづき、克雪から利雪にわたる総合的な施策を推進します。

水資源の活用については、久婦須川総合開発事業などに着手するほか、水をテーマにした国際的なシンポジウムを開催するなど、とやまの水のイメージアップを図ります。

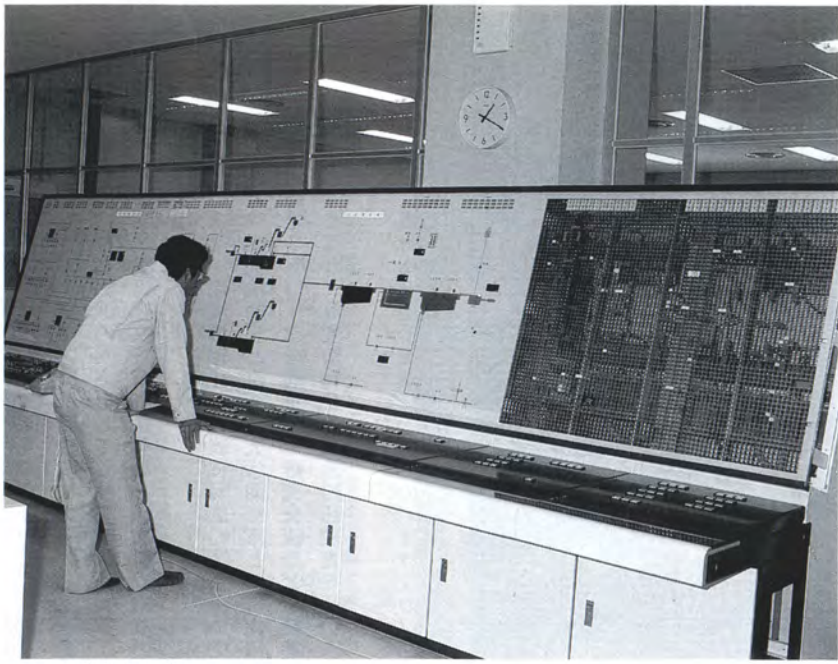
海洋の開発については、アクアマリン調査による実証研究や海洋情報システムの整備を進めるほか、海王丸の誘致や岩瀬運河リフレッシュ計画の策定に取り組みます。

生活基盤の充実

下水道の整備については、今年三月に小矢部川流域下水道の一部を供用開始しましたが、引き続き幹線管渠の建設を進めます。

自然環境を保全するため、自然環境保全指標を作成するとともに、立山や称名滝周辺の整備

を図るなど、富山県のすぐれた自然の保全と利用促進を図ります。



二上浄化センター

総合交通体系の整備

北陸新幹線については、昭和六十三年度の国の予算編成で、今年八月までに、着工の優先順位および財源問題等の結論を得ることとされました。今後は、北陸新幹線が最優先順位を得て、本格着工が一日も早く実現するよう、政府、関係機関に働きかけていきます。

北陸自動車道については、今年の夏に、全線が開通する予定です。東海北陸自動車道については、福光・莊川間の整備計画への早期組み入れに努めます。能越自動車道については、高岡・小矢部道路が新規に着手される予定であり、今後も建設促進を図ります。

富山空港については、緩衝緑地の整備を進めるなど、機能の充実を図るとともに、小型航空機による地域航空の導入について調査研究を進めます。

伏木富山港については、伏木外港計画に関する調査を進めるなど特定重要港湾として一層の整備拡充を図ります。

交通安全対策については、交通安全ことぶき県民運動や高齢者おもいやりゾーンの設置など高齢者の交通安全に努めるほか交通管制システムの拡充や信号機の新設など交通安全施設の整備を進めます。

国際化時代への対応

中国遼寧省との間で、経済、文化などの交流事業を進め、両県省の相互理解と友好関係の増進を図ります。また、ブラジルサンパウロ州からサッカーコーチを招へいするなど、各国との交流をさらに推進します。

さらに、東南アジア日本留学者の集いや婦人国際交流フェスティバルの開催、カリフォルニア大学サンディエゴ校のサマースクールへの助成など国際感覚豊かな人材の育成に努めます。

青年、婦人の海外派遣事業については、今年七月に「日本海をめぐる富山県友好の船」を中国、韓国、ソ連へ派遣します。

夜間都市景観形成事業

(TOYAMAライトアップ作戦)

「富山の夜は、暗い」、商店街の閉まるのが早い」などの声をよく耳にします。

都市化や余暇時間の増加に伴い、夜間の生活時間が増大しており、活力や魅力ある都市の発展には、夜間の都市の美しさ、快適さや賑わいの演出が必要となっています。そこで若者が魅力を感じる「まち」づくりを目指し、TOYAMAライトアップ作戦を展開して、明るい富山のイメージづくりを進めます。

今年度は、夜間景観の実態調査、先進事例調査やライトアップのモデル実験を行い、夜間景観の基本方針、モデルプランなどを内容とした、ライトアップマニュアルを作成することにしています。



とやま・フラワーアート

春の富山平野を彩る県花・チューリップ。富山県では、このチューリップを全国にPRするキャンペーンを実施しています。

三年目の今年のイベントは、「とやま・フラワーアート」。

富山市内を流れる松川を舞台にして、摘花チューリップで川面に絵を描く「チューリップカーベット」、水栽培のチューリップを活用した「チューリップの浮島」、川面に花弁を流す「チューリップ流し」など、楽しいイベントをたくさん用意しています。

四月二十九日(金)～五月一日(日)の三日間、チューリップの新しい魅力を川岸からはもちろん、遊覧船に乗って楽しんでみてはいかがでしょうか。



活力ある 産業びゅうり



技術立県をめざして

機械電子技術の研究開発拠点として、工業技術センター富山研究所の建設に着手するとともに、林業振興の拠点として、林業技術センター林業試験場を改築整備するなど高次研究機能の充実に努めます。

また、高度情報化の進展に対応して、県内の試験研究機関等と筑波研究学園都市との研究情報ネットワークを構築し、研究交流などを推進するほか、高度情報化のための諸調査を行います。

農林水産業や業業についてのバイオテクノロジー応用技術研究を一層進めます。

農林水産業の振興

富山県農業の進むべき基本的方向は、良質米生産を基幹としつつ、園芸や畜産の振興を図り、産地間競争に耐えうる生産性の高い農業を実現することにあります。

このため、農地の流動化や地域ぐるみの営農体制づくりを進めるとともに、バイオテクノロジーを応用した技術開発にも取り組むなど、コストの低減や高付加価値化をめざした施策を展開します。

園芸については、花き産地の生産条件の整備を図るなど地域の特性を活かした産地づくりの充実に努めます。

畜産については、引き続き肉用牛改良増殖センターの整備や畜産団地の育成を進めます。

林業については、林道等生産基盤の整備を進めるほか、木材需要の拡大を図るとともに、新たに林業者のための研修集会所を整備します。水産業については、つくり育てる漁業を推進するため、栽培漁業センターの施設の充実や増養殖の拡大などを図ります。

工業の振興

テクノポリス建設の推進については、県内企業のデザイン開発力の育成強化を図るため、イ

また、イベントに関連する幅広い産業の振興を図るため、富山国際コンベンションセンター（仮称）の設立を支援します。

観光の振興については、いきいき富山観光キャンペーンを引き続き実施するとともに、北陸自動車道の全線開通を契機として、各種イベントを開催するなどし、富山の魅力を全国に紹介します。

貿易の振興については、インポートフェアとやま'88を開催するほか国内外の見本市に参加するなど、県産品の販路拡大に努めます。

雇用の安定

各種雇用援助制度の活用、定年延長の促進、シルバー人材センターに対する助成などにより、雇用の安定に努めます。

職業能力開発については、職業訓練校を再編整備し、富山県技術専門学院（テクノカレッジ）を開校するとともに、富山職業能力開発センターの整備を進めます。

施策の実施のために

行政改革については高齢社会に対応して総合的に施策を推進するため、高齢社会対策室を設置するほか、家庭教育、学校教育、社会教育を通じた一貫した生涯学習の振興を図るため、生涯学習室を設置するなど行政機構の再編整備を行うとともに、引き続き事務事業の整理合理化、事務の機械化、民間委託の推進などを図ります。

職員定数の面では、知事部局職員は据え置き、警察官は、十人を増員します。教職員については、児童生徒数の減少にともない十三人を減員します。

また、県民に開かれた県政を推進するため、県政バス教室を拡充するほか、新聞、テレビなどを通じた広報活動の充実、県内外でのイメージアップ施策の展開を図ります。

さらに、県民自らがイベント等を通じて地域社会の在り方を考えるイベントシナリオコンペティション事業に取り組みます。



いきいき富山観光キャンペーンオープニング

「イベントシナリオコンペティション」

県内で、地域づくりをめざして活動している方に、自分達の手でイベントのシナリオを

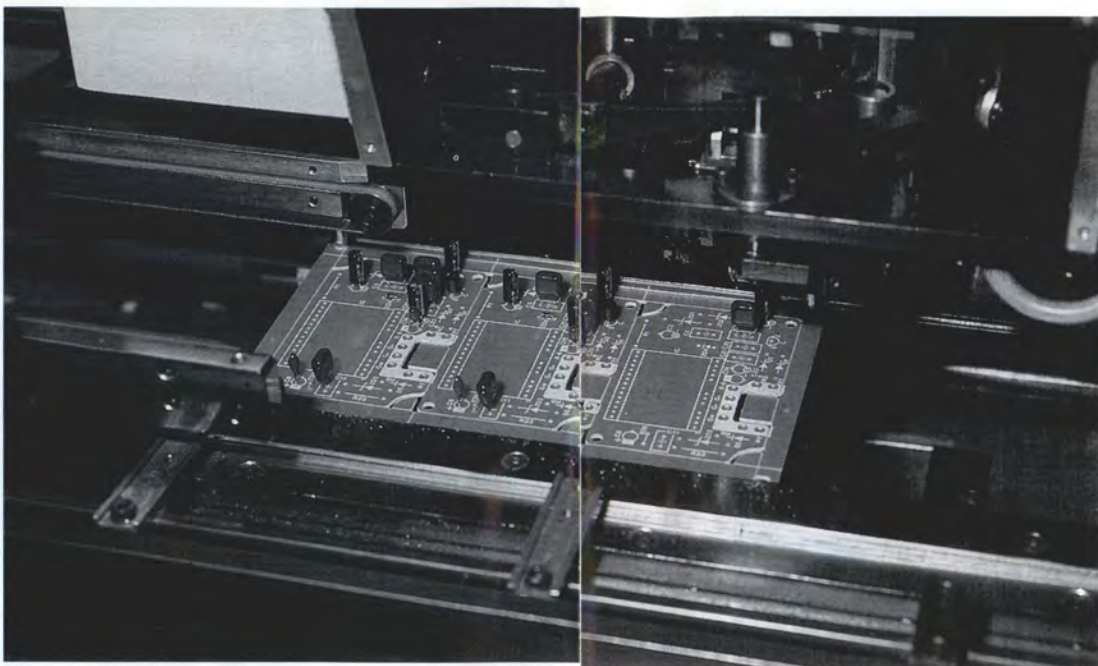
作り上げていただくとする事業です。

六十三年度には、活動している県民・グループの方を県が応援し、その横のつながりや地域との関係を考えてもらうため、ティーチイン（自由な雰囲気での討論会）の開催や、活動状況を全国的に宣伝する仕組みも用意しています。

「富山ってどんな県なの」「富山の素晴らしいところは何か」と聞かれても、遠慮してなかなか説明できなかったりしませんか。

山、海、里、人間、どれも素晴らしい富山県で元気に活動する人間が、全国から見える。そんな姿をイベントという理解しやすい切り口からつくり上げていこうとするものです。

そして、六十四年度には、いよいよ、皆さんからイベントシナリオを出していただき、それを県が応援しながら自ら実施していただきます。



ンダストリアル・デザインセンターの設置・運営を支援します。また、大規模展示機能等を備えた文化・産業創造センター（仮称）建設の準備を進めます。

企業立地については、自然科学研究所や情報サービス産業などの頭脳部門の集積促進計画を策定し、国の支援措置の導入を図るなど優良企業の立地を推進します。

中小企業の振興については、地域融合化センターの設置や異業種交流フェアの開催など、中小企業の知識、技術の融合化施策を進めるとともに、制度融資の活用により中小企業の新分野進出、技術高度化などを促進します。

第三次産業の振興

商業サービス業振興ビジョンの策定やコミュニティマーケット事業を推進するほか、新たに商業活性化資金融資制度を創設し、商業、サービス業の活性化を図ります。



土がもぞもぞ動きだし

風はそわそわ弾みだす

木はこぞこぞときしみだし

川はびんびん輝いた

五箇山にも春がきた

PIN-UP TOYAMA

撮影 池端 滋

ことしの 地価公示

昭和63年1月1日現在

今年の地価公示が発表されました。地価公示は、毎年一月一日現在の調査地点の価格(一平方メートル当り)を国土庁が発表するもので、県内には百五十四か所の調査地点が設けられています。

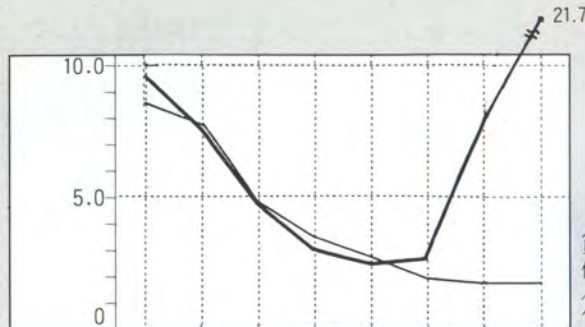
地価公示価格は、一般の土地取引の目安となるほか、公共事業用地の取得価格の算定基礎や国土利用計画法に基づく土地売買届出の価格審査基準として利用されています。

今年の地価公示によると、本県の地価は前年に比べ一・八パーセント上昇しました。これは、昨年の一・七パーセントを〇・二ポイント上回るもの

です。地価上昇率が前年を上回ったのは昭和五十六年以来七年ぶりのことですが、全国平均が二・七パーセント上昇しているのに比べると、本県の地価は依然として安定していると云えます。

土地の取引をするときには、地価公示または県が実施する地価調査の価格を参考にしてください。

地価公示等の詳しい内容については、県庁県民生活課または各市町村の土地対策担当課にお尋ねください。



(単位/パーセント)

昭和56年からの 上昇率の動き(全国平均)

	56年	57年	58年	59年	60年	61年	62年	63年
富山県	8.5	7.9	4.7	3.3	2.5	1.9	1.7	1.8
全国	9.6	7.4	4.7	3.0	2.4	2.6	7.7	21.7

昭和63年1月1日時点 左から所在地及び地価 価格(円/㎡) 対前年上昇率(%)

富山市

▼住宅地

上庄町38番	41,500	1.2
四方西岩瀬字石瀬156番	23,100	0.4
草島字砂田287番41	26,900	0.7
富岡町230番	44,300	0.7
呉羽町字三外蒨5102番22	46,000	1.3
五福字青山4372番2	79,000	1.8
上袋300番外	50,000	3.5
米田すずかけ台2丁目102番	41,300	2.5
秋吉字大曲割1番107	70,000	1.0
石坂字茶円2674番外	48,100	1.7
町村字長峰割101番3	42,500	1.2
大町字市右エ門割198番2	69,500	2.7
山室字東田割191番31	59,200	6.7
水橋館町字紺屋作417番1	36,300	2.0
蓮町字一本木割93番8	43,700	1.4
長江新町2-6-14	79,700	1.1
弥生町1-2-11	115,000	0.9
永楽町36-13	87,100	1.3
藤の木台1丁目43番	42,300	0.7
粟島町1-14-8	45,200	2.5
新庄町字馬場73番5	48,900	0.2
五福字田中島486番1	81,000	1.6
荒川字前田割48番2外	50,500	1.0
於保多町8-3	103,000	2.0
堀川町字鳥ノ木割713番2	59,900	1.5
大泉東町1-2-23	108,000	1.9
西中野町1-3-12	129,000	1.6
清水中町2-6	123,000	1.7
千石町4-5-9	147,000	2.8
布瀬町字町口割645番24外	99,100	2.0
堀川小泉町字古道割563番8外	104,000	2.0
奥田寿町9-13	128,000	4.1

磯部町2-2-3	145,000	2.8
音羽町2-1-27	111,000	1.8
神通町2-4-2	130,000	1.6
水橋島等字西狭場60番1	31,100	1.0
東中野町1-2-20	122,000	1.7
清水町7-2-15	108,000	3.8
舟橋南町6-20	176,000	3.5
▼宅地見込地		
新庄町字道田割3番2	12,800	1.6
▼商業地		
西町4-10	1,800,000	4.0
水橋町字大町49番1外	51,700	0.8
五番町4-16	250,000	0.8
呉羽町字海老山7085番1外	112,000	3.7
永楽町6-10	200,000	3.6
太郎丸字向河川原割1244番1外	330,000	—
太田口通り1-5-10	332,000	0.6
堤町通り2-7-8	466,000	2.4
大町字当後割17番1外	177,000	2.9
泉町1-1-3	244,000	2.1
星井町3-6-18	365,000	—
丸の内2-3-12	340,000	3.0
桜橋通り6-11	880,000	10.0
諏訪川原3-4-12	190,000	1.6
桜町2-1-8	1,100,000	16.6
蓮町字一本木割112番6	61,000	—
東田地方町2-2-7	192,000	2.7
▼準工業地		
水橋中村428番1外	21,900	1.9
上飯野字樋向割40番3外	49,300	0.6
黒崎字松ノ木割627番1	56,000	4.1
館出字上川原割1番1外	135,000	2.3
豊田町1-1-8	78,700	2.2
米田字大覚75番2外	45,600	0.4
上赤江町1-11-40	115,000	3.6
▼工業地		
向新庄917番1外	26,300	1.2
▼市街化調整区域内宅地		
高木字中坪1148番外	29,400	0.7
花木字土田割400番2	27,000	0.4
針原中町字好西寺826番4外	27,200	0.7

羽根字三步一割1174番2外	39,700	—
水橋上桜木191番2	20,600	0.5
開発285番	28,500	0.4

高岡市

▼住宅地

大町5-3	73,600	1.0
熊野町7-8	63,000	1.8
野村933番55	75,500	1.6
伏木矢田6-2	47,500	1.7
野村382番5	75,600	1.5
波岡90番1	50,700	0.8
永楽町6-12	57,400	1.4
立野字館565番4	38,400	1.6
駅前3-11-5	133,000	0.8
赤祖父318番2	77,500	1.8
木津675番3	58,900	0.5
泉町10-40	81,400	2.0
江尻字村前100番28	62,900	2.4
伏木東一宮12-30	59,800	0.5
下牧野字埋田397番5	35,100	2.0
中田字木村4916番1	26,900	1.1
戸出町4-2-21	46,100	1.5

▼宅地見込地

出米田389番	31,200	0.6
---------	--------	-----

▼商業地

宮脇町字吉田1003番1外	1,000,000	1.0
丸の内2-5	300,000	—
旅龍町13番外	102,000	1.0
清水町2-2-18	146,000	—
駅前1-8-29	254,000	2.8
三番町15番2外	257,000	0.8
▼準工業地		
内免4-6-43	75,500	0.9
千石町3-13	118,000	2.6
江尻字村前315番5外	120,000	2.6
金屋町8-11	71,300	0.8
▼工業地		
吉久1丁目351番5	19,200	0.5

▼市街化調整区域内宅地

中曾根718番	29,700	1.0
佐加野字屋敷1443番1外	22,100	0.5
福田六家113番	40,500	1.5
佐野276番25	44,700	1.4
下麻生伸町859番117	28,000	—

新湊市

▼住宅地

三日曾根13-8	59,000	1.5
本町1-1-17	50,000	1.8
東明七軒2番4	18,500	0.5

▼商業地

本町3-18-10	159,000	0.6
中新湊19-2	84,000	0.6

▼準工業地

庄西町1-18-25	34,700	1.2
七美中野65番1外	22,400	1.4

▼工業地

二の丸町345番	16,100	1.3
----------	--------	-----

▼市街化調整区域内宅地

松木751番	31,000	1.6
--------	--------	-----

魚津市

▼住宅地

本江新町8-22	84,000	1.6
釈迦堂1-9-20	101,000	1.4

▼商業地

新宿7-11	195,000	1.6
--------	---------	-----

氷見市

▼住宅地

幸町21-33	75,800	1.6
窪2271番7	42,600	1.4

▼商業地

中央町3-4	147,000	2.1
--------	---------	-----

滑川市

▼住宅地

田中町184番1外	42,100	1.4
中川原319番	31,000	1.6

▼商業地

中川原74番	89,600	2.2
--------	--------	-----

黒部市

▼住宅地

三日市字米田1408番2外	59,000	2.3
生地神区293番1外	41,000	1.2

▼商業地

三日市字桜枝3206番2外	186,000	1.6
---------------	---------	-----

砺波市

▼住宅地

広上町1-13	49,100	1.9
豊町1-2	57,900	2.3

▼商業地

中央町1-5	137,000	2.2
--------	---------	-----

小矢部市

▼住宅地

城山町2-42	48,600	1.0
島中町8-22	46,400	1.1

▼商業地

石動町12-23	210,000	1.4
----------	---------	-----

舟橋村

▼市街化調整区域内宅地

竹内188番	19,100	0.5
古海老江41番1外	9,240	0

婦中町

▼住宅地

速星842番1外	38,000	1.6
田島1009番6	33,200	2.2
長沢字山岸4522番8	21,900	0.5

小杉町

▼住宅地

戸破字後宝1291番1	34,000	2.4
戸破字若宮3149番4	37,100	0.8
三ヶ字中吉原3604番2外	38,700	0.8
三ヶ2509番1外	41,000	2.5
戸破字神田4005番3外	39,700	1.3

▼商業地

三ヶ字中吉原3654番1	95,000	1.4
--------------	--------	-----

▼市街化調整区域内宅地

中老田新字丸554番8	17,000	1.2
-------------	--------	-----

大門町

▼住宅地

大門字道山125番4	50,000	5.0
二口字馬渡1966番	40,200	0.5
二口字南野割2346番3	50,800	0.6

▼商業地

大門字道山104番3	124,000	—
------------	---------	---

▼市街化調整区域内宅地

串田870番1	12,200	0.8
---------	--------	-----

下村

▼市街化調整区域内宅地

加茂字太子田3628番1外	16,400	0.6
白石343番	14,700	0.7

大島町

▼住宅地

北野字八切1551番3	43,800	2.1
小島1014番2外	38,800	1.6
小島382番11	42,900	2.6



レポーター 福田弘美(井口村)

富山はいつと花いっぱい。

富山県農業技術センター野菜花き試験場&富山県花総合センター



富山県が目標としている三つの日本一。今回は、そのうちの二つ「花と緑の日本一」を支える二つの施設をレポートします。

日本で唯一のチューリップ新品種研究開発機関がここに。

まずは、農業技術センター野菜花き試験場です。この施設は、あるときは球根農家のよりよきアドバイザー、あるときは花のお医者さん、そしてまたあるときは花と緑という富山県のイメージをつくりあげる影の仕掛人という役割を果たしています。

具体的には、花の病気の予防や早期発見、土に代わる使い捨ての繊維質を使った栽培、バイオ技術を利用した急速増殖技術の研究やチューリップ等の新品種づくりなどに取り組んでいます。

特にチューリップの新品種づくりは、ここが日本で唯一の研究機関で、今までに十五の新品種が実用化されています。こういった新品種の実用化は難しく、また、種子から花が咲くまでに何年もかかることもあって、なかなか根気のいる作業だそうです。

ここでは主として、実用化できる球根づくり、球根農家の保護育成、「もうかる農業」といったことに力を入れて活動していますが、近年の円高や貿易の自由化などで球根農家は厳しい現実に向き合っており、より一層の技術・研究の進歩への期待がこの試験場に寄せられているそうです。



もう18万人の人が「エレガ」の美しさに触れたいです……

さて、二つめの施設は、エレガガーデンです。ここは、花と緑に囲まれた富山県を象徴する施設であるとともに、県民の皆さんに花に親しんでもらい、また、憩いの場として多様に活用されています。

てもらう目的で設けられた施設です。そのため、本名の「富山県花総合センター」よりも、「エレガガーデン」という愛称で親しまれています。

ここは昨年の四月二十八日にオープンしたのですが、昨年の十二月現在で既に利用者数は十八万人を突破、県外からのお客さんも多く、予想を上回る大盛況だそうです。

「花を知り、花に触れる、花を育てる、四季を通じて愛する心を咲かせます」という、キャッチフレーズの通り、館内には、すてきな花がいっぱい咲いており、名の如く、エレガガーデンという雰囲気です。

この他、野外には、万葉集にてくる植物を集めたという万葉園や薬草園、野性ランやミズバショウのコーナーなどがあり、マニアならずとも一度は見ておきたいものばかりです。

以上、今回は、野菜花き試験場とエレガガーデンの二つの施設を見ましたが、この二つは、花と緑の日本一に向けて進む両輪です。心のゆとりが叫ばれる昨今、こういった施設の重要性はますます高くなっていくと感じました。



レポーター募集

「レポーター」をしてみたい。「県政のあんなところ、こんなところをみたい」、こんな方は県庁広報課までご連絡ください。あなたの参加をお待ちしています。

☎(0764)31-4111 企画県民部広報課

ふるさと
みてある記

滑川市

ホタルイカがやってきた

ホタルイカ漁が始まり、滑川漁港は活気に満ち、漁師さんの目は血走っている。

「滑川の漁師は、ホタルイカで一年の生計を立てようと思っただけから一生懸命やっちゃ」と、ホタルイカ漁が始まり、滑川漁港は活気に満ち、漁師さんの目は血走っている。



タリイカをとって五十一年の大浦義雄さん(73)。三年前に組合は定年になったが、「休んどっても体によくないし」と今も夜中の二時半に家を出て網を曳いている。滑川沖には、15統ものホタルイカ定置網が張られている。(写真参照) 中心から陸に向



かつて五百〜八百メートルほどの垣網が伸びており、夜、沿岸で産卵を終えたホタルイカが沖へ戻る途中これにぶつかり、網の中へ入り込む。明け方、身網を二その船で寄せ、ホタルイカをすくい上げる。この定置網がホタルイカの形をしているのは何とも皮肉だ。

「最近他の県でもとるようになってきたけど、成熟したらんがをトロール船で無理に引つ張り上げるとるがや。このは、いっちょ前になつとるが丁寧にするから、味も大きさも違うし、形がきれいやね」と大浦さんは胸を張る。

今では全国から引っぱりだこの高級魚だが、昔は半分以上田んぼのこやしになったもんです。最近では洗剤とかのせいで川が汚なつて、あん

てまち起こしをと意気込んでいる。

最高のつまみ

「特許ホタルイカくんせい」町の中でこんな看板を見つけた。ホタルイカ加工の老舗青柳商店



「ゆでて出荷した最初が私とこたつたんです。肥料になつた

たがをどうにかして食べようと舅が研究したようです」と店主の青柳美代志さん(75)。人気商品のホタルイカのくんせいは、終戦直後に御主人が発明し、製法特許を取っている。

ホタルイカが三匹ずつ串に刺され、一つ一つ小袋に入られている。縮れた足が何ともかわい。塩ゆてにして何度も干したり味を付けたりしたあと、煙で一晩いぶして作る。ビールや洋酒のつまみに最高だ。

店には他に、松風煮や佃煮、塩辛、みりん干し、そしてなぜか生態標本が並んでいる。これも売りもので、ホタルイカをアルコールに漬け

滑川市の概要

面積 55.21平方キロメートル
人口 31,033人(63年3月1日現在)

早月川の扇状地に発達した市。丘陵地の東福寺野自然公園は、隣接の不水掛遺跡公園とともに家族で楽しめる。四季の草花が咲き乱れる行田公園の六月は、花しょうぶが満開。早月川上流のみのわテニス村は、若者に大人気。



のが不思議だ。三年前から練っていたんです。プラスチックやアクリルも考えてみたけど、ガラスの冷たさと光が一番ヒットするね」と考案者の佐藤良昭さん(39)。評判は上々だ。



このホタルイカを実際に作っているのは工場の藤谷雄久さん(29)。ふだんはグラスエッチングと編集をしているが、自称「なんでも屋」。話をもちかけられて、バーナーワークに初挑戦した。ガラス棒をガスバーナーで溶かし、伸ばしたりつなげたりして一つ一つ作っていく。

「水につけた途端に折れてしまうものには参りました。火傷もよくしましたが、工夫しながら作るのを楽しんでいますよ。色を付けたら、すりガラスにしてみたり、今出ているのは四作目だ。いろいろなお研究所へも技術を習いに通ったとか。

「できあがったのを洗って水切りに並べると一面がブルーになるんです。本物が揚がる瞬間と同じ。不気味なくらいですよ。ガラスのホタルイカは本物より本物らしくなつてしまつたよう

だ。センターでは、湯のみやグラス、ワッペンなどアイデア商品をどんどん試作し、ホタルイカ

まり陸に近寄りゃね。

最盛期は、四〜六月。「盛りには五百ザル上がったよ。普通は二十〜六十ザルやね。ちなみに一ザルには五十キロ、五千〜六千匹のホタルイカが入るとか。すごいもんだ。

「潮のあんばいによって光り方が違うちゃ。水の澄んだ日はきれいやぞー」

慣れっこになつてはいるはずの漁師をも感動させてしまうホタルイカの光。不思議な光だ。

ホタルイカにとりつかれた男たち

このホタルイカの光を形にしよう——とホタルイカ商品の開発に熱を上げている男たちがいる。商工会議所の有志九人、昨年十二月に有限会社とやま富るさとセンター

まで作ってしまった。

第一弾は、「ほたるいか招福夫婦雛」。長さ七センチのガラス製のホタルイカが2個並んでいる。足はホタルイカの発光に似せた瑠璃色。それが反射して頭もブルーに染まる



て合成樹脂で固めたもの。足の先の発光器がよくわかる。佃煮を乾燥させた越千鳥は明治中頃から作られている。

左党に根強い人気のあるホタルイカ。「私はただ、のれんを守っているだけです」と美代志さんはつつまじやかだ。

さて、いよいよ四月十六日からホタルイカ観光がスタートする。午前四時に出航して網起こしを見学、帰りには立山連峰からの日の出を拝むことができる。ホタルイカは赤いものだと思つているあなた、本当の光を見てくださいか。





「県政バス教室」は、県民の皆さんに県の公共施設や事業の実施状況等を実際に見ていただき、県政についての理解を深めてもらうとともに、率直なご意見やご要望をお聞きし、県の施策に反映させるため実施するものです。

「県政バス教室」

あなたも、参加してみませんか▶▶▶

①応募方法

往復はがきで申し込みください。

〈団体〉

・団体名
・代表者氏名・住所・TEL
・参加人数
・コース及び運行日
第1希望
第2希望

〈個人・グループ〉

・氏名
・住所
・TEL
・コース及び運行日
第1希望
第2希望

(住所) 殿
(氏名) 殿

(住所) 殿
(氏名) 殿

②申し込み・問い合わせ先

団体とは、単一団体又は数グループで構成された概ね30〜40名の集団をいいます。

地区	申し込み先
富山	企画県民部広報課 富山市新総曲輪一七富山県庁内 TEL(0764)31-3131

地区	申し込み先
高岡	高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父二一高岡総合庁舎内 TEL(0766)21-9411
魚津	魚津地方県民相談室 魚津市新宿一〇七魚津総合庁舎内 TEL(0765)24-5311
砺波	砺波地方県民相談室 砺波市幸町一七砺波総合庁舎内 TEL(0763)33-5151

③申し込みコース及び運行日

該当する地区の運行表の中からお選びください。

④申し込み受付期間

地区	運行日
高岡	5月 運行分4月7日〜4月13日
魚津	6月 4月25日〜5月9日
砺波	7月 5月25日〜6月6日
富山	7月 6月25日〜7月6日(夏休み期間に運行)
親子バス	9月 7月25日〜8月5日
10・11月	8月25日〜9月5日

⑤参加の決定

応募者多数の場合は、抽せんにより決定し、結果は通知します。

⑥その他

- 参加費は無料です。ただし、入館料の必要な施設についてはそれぞれ入館料を負担して下さい。
- 昼食、お茶は各自持参して下さい。
- 団体については、指定される場所まで送迎します。
- 飲酒はお断りします。
- 都合により、一部コースを変更することがあります。

コース	運行日	見学コース
A	5/16, 6/15, 10/26	情報教育センター(パソコン実習)〜内山邸(昼食)〜 5%公社営栽培漁業センター 6%公社営栽培漁業センター〜行田公園(菖蒲) 7%水産試験場 〜県庁〜警察資料展示室
B	6/8, 9/14, 9/28, 10/15	食品研究所〜総合体育センター(ミニスポーツセミナー・昼食)〜近代美術館〜 1%のみ 特産王国とやまフェスティバル(テクノホール)
C	6/15, 7/20, 10/19	野菜花き試験場〜安川発電所〜高岡地場産業センター(昼食)〜勝興寺〜ウッドリウム(木工実習)
D	6/1, 7/13, 9/7, 10/19	(高速)〜魚津埋没林博物館〜黒部職業能力開発センター(県民技能教室・昼食)〜黒部市吉田科学館(プラネタリウム)〜新川育成牧場
E	6/8, 7/20, 9/28	健康増進センター(健康・体力チェック)〜立山山麓家族旅行村(「花きり」昼食)ゴンドラリフト〜立山風土記の丘
F	5/10, 6/1, 10/7, 10/26	富山能楽堂(高速)〜黒部青少年の家(昼食)〜 1%のみ(高速)富山県植樹祭(入善町・昼食)〜 〜不動堂遺跡〜百河豚美術館〜黒部川電気記念館
森林浴	6/1	(山道徒歩1時間30分あります) 有峰記念館〜有峰ふるさと自然公園(昼食)〜大山町歴史民俗資料館
テクノ	8/19	株不二越富山工場〜富山技術交流センター〜パソコン大会(県民会館)〜八尾中核工業団地〜八尾山展示館
キ特トキト産	10/26	山村特産指導所〜北陸電力呉羽試験農場(昼食)〜新湊漁港〜稲葉山牧場〜戸出鶏卵流通センター
交通安全と通ぶ安全	10/18	交通安全博物館・同自転車コース〜立山ひょうたん畑〜黒部青少年の家(昼食)〜不動堂遺跡〜百河豚美術館(高速)

※交通安全とぶきコースは、概ね60歳以上の高齢者を対象にします。
※このほかに、親子バス教室(夏休み期間中)もあります。(小学校4〜6年生とその親を対象)

コース	運行日	見学コース
A	6/1, 7/13, 10/7	総合体育センター(ミニスポーツセミナー)〜いこいの村富山(昼食)〜自然博物館センター〜ねいの里〜県庁〜科学文化センター(プラネタリウム)
B	6/6, 9/28, 11/2	木材試験場〜ウッドリウム(木工実習)〜 1%緑化センター(園芸教室・昼食)〜消費生活センター〜県庁〜金岡邸
C	6/29, 9/28, 11/8	交通安全博物館〜株広貴堂〜教育記念館(昼食)〜情報教育センター(パソコン実習)
D	5/16, 6/11, 9/14, 10/3	高志リハビリ病院・授産ホーム〜高岡地場産業センター(昼食)〜 1%工業技術センター〜太閤山ランド 2%のみ 観光と物産まつり(テクノホール)〜富山能楽堂
E	6/1, 6/15, 9/7, 11/2	健康増進センター(見学のみ)〜福野職業能力開発センター(県民技能教室・昼食)〜刀利ダム〜棟方志功記念館「愛染苑」〜(高速)
F	6/1, 7/20, 10/3, 10/26	神楽橋・かぐら通り〜射水西部排水機場・富山新港西側埋立地〜二上浄化センター(昼食)〜光久寺〜朝日山公園
森林浴	10/26	(山道徒歩1時間30分あります) 富山市古洞池〜野鳥の園(バードウォッチングもできます・昼食)〜ねいの里
テクノ	7/4	三協アルミニウム工業本社〜庄川町水記念公園(昼食)〜繊維研究所〜野菜花き試験場〜エレガガーデン
キ特トキト産	8/31	農業試験場〜食品研究所〜畜産試験場〜北陸電力呉羽試験農場(昼食)〜呉羽梨第一選果場〜八ヶ山施設園芸団地〜経済連精米所
交通安全と通ぶ安全	9/13	交通安全博物館・同自転車コース〜(高速)〜砺波青少年の家(昼食)〜庄川町水記念公園〜井波彫刻伝統産業会館

コース	運行日	見学コース
A	5/25, 6/6, 9/14, 10/7	情報教育センター(パソコン実習)〜埋蔵文化財センター(昼食)〜内山邸〜県庁〜消費生活センター
B	5/10, 6/8, 6/29, 9/7	二上浄化センター〜緑化センター(園芸教室・昼食)〜近代美術館〜県庁〜公文書館
C	5/25, 6/25, 7/20, 9/21, 10/12, 10/26	総合体育センター(見学のみ)〜(高速)〜黒部職業能力開発センター(県民技能教室・昼食)〜黒部市吉田科学館(プラネタリウム) 1%のみ 総合体育センター(ミニスポーツセミナー・昼食)〜インポートフェア(テクノホール)〜富山能楽堂〜近代美術館
D	5/16, 5/25, 6/20, 7/4, 10/7, 10/12	健康増進センター(健康体力チェック)〜教育記念館(昼食)〜ウッドリウム(木工実習)〜神楽橋かぐら通り〜光久寺(茶庭)
E	5/10, 7/13, 9/17, 9/28, 10/12, 11/2	畜産試験場(ミニ動物園)〜熊野川ダム〜呉羽ハイイツ(昼食)〜富山市民俗民芸村〜内山邸
F	5/10, 6/8, 7/13, 9/21, 10/7, 10/19, 11/8	利賀合掌文化村〜利賀少年自然の家(昼食)〜利賀村社会福祉センター〜庄川町水記念公園〜野菜花き試験場
森林浴	6/8	(山道徒歩1時間30分あります) 頼成の森駐車場〜頼成の森〜ねいの里
森林浴	9/28	(山道徒歩1時間30分あります) 朝日町城山駐車場〜あさひ国民休養地(昼食)〜鹿島神社〜百河豚美術館
ふ福れあい社	10/26	水見市社会福祉会館・おもちゃの図書館〜特別養護老人ホーム・エスポワールこすぎ〜富山市フラワーセンター(昼食)〜高志リハビリ病院・授産ホーム
テクノ	6/20	八尾中核工業団地〜魚津水族館(昼食)〜果樹試験場〜吉田工業株黒部工場
キ特トキト産	8/1	池田西刈果場〜果樹試験場〜郷土文化保存伝習館(宮野山公園昼食)〜西布施ぶどう団地〜公社営栽培漁業センター
交通安全と通ぶ安全	6/21	交通安全博物館・同自転車コース〜越中瀬戸焼〜黒部青少年の家(昼食)〜不動堂遺跡〜百河豚美術館(高速)

コース	運行日	見学コース
A	5/16, 6/15, 7/4, 11/2	総合体育センター(ミニスポーツセミナー)〜いこいの村富山(昼食)〜自然博物館センター〜ねいの里〜埋蔵文化財センター〜県庁〜富山能楽堂
B	5/10, 6/20, 9/7, 10/3	情報教育センター(パソコン実習)〜衛生研究所〜呉羽ハイイツ(昼食)〜株広貴堂〜県庁〜 1%のみ テクノフェア(テクノホール)
C	6/1, 7/13, 9/7, 9/21, 10/3, 10/26	ウッドリウム(木工実習)〜小矢部メルヘンの街〜エレガガーデン(昼食)〜安川発電所〜頼成の森
D	5/25, 6/29, 7/20, 9/14, 10/12, 11/8	{(高速)城端曳山会館〜善徳寺}〜福野職業能力1%のみ 福野菊まつり 開発センター(県民技能教室・昼食)〜井波彫刻伝統産業会館〜マーシ園(重度障害者授産施設)
E	5/28, 6/15, 7/9, 9/21, 10/12, 11/2	農業試験場〜入善町フラワーセンター〜黒部青少年の家(昼食)〜新川育成牧場〜魚津埋没林博物館
F	5/25, 6/8, 7/13, 7/13, 10月上旬, 10/19, 11/2	{富五箇和紙組合〜ささら館(昼食)〜若瀬家}〜 選10月上旬富山県樹祭(上平村・昼食) 棟方志功記念館「愛染苑」〜向川砂防堰堤「七福の森」〜庄川町水記念公園
森林浴	5/25	(山道徒歩1時間30分あります) 朝日町城山駐車場〜あさひ国民休養地(昼食)〜鹿島神社〜百河豚美術館
森林浴	10/3	(山道徒歩1時間30分あります) 有峰記念館〜有峰ふるさと自然公園(昼食)〜有峰ビジターセンター
ふ福れあい社	10/19	視覚障害者福祉センター〜特別養護老人ホーム新川ヴィーラ(ボランティア体験)〜薬用植物指導センター(昼食)〜高志リハビリ病院・授産ホーム
テクノ	5/25	三協アルミニウム工業本社〜高岡短大〜工業技術センター(昼食)〜高岡地場産業センター〜エレガガーデン
キ特トキト産	6/1	富山中央卸売市場〜戸出鶏卵流通センター〜高岡市太田自然休養村(昼食)〜小矢部バラ栽培農家〜野菜花き試験場〜エレガガーデン
交通安全と通ぶ安全	5/24	交通安全博物館・同自転車コース〜(高速)〜砺波青少年の家(昼食)〜庄川町水記念公園〜井波彫刻伝統産業会館

春の全国交通安全運動

「安全は あなたがまもる あなたがつくる」

4月6日水～15日金

運動の重点

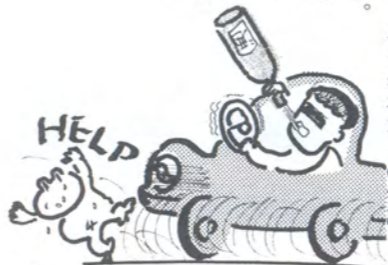
子供と高齢者の 交通事故防止

四月は、新入学(園)シーズン。子供の交通安全には十分注意しましょう。
また、高齢者の夜間外出時には、明るい服装を心掛け、反射材を身につけましょう。



無謀運転の防止

昨年一年間の県内での交通事故死亡者八十二人のうち、三十三人(約四十八パーセント)が、飲酒、暴走、信号無視などの無謀運転によるものです。
家庭・職場・地域で交通事故の悲惨さについて話し合い、安全運転に努めましょう。



自転車の交通事故防止

自転車安全運転五則

- ① 交差点では一時停止
- ② 曲がるときは後方確認
- ③ 無灯火運転はしない
- ④ 傘さし運転はしない
- ⑤ めいわく駐車をしない

富山県は、自転車事故の割合が高く、全事故の二十パーセントが自転車によるものです。安全運転と点検整備を徹底しましょう。

正しい方法による シートベルトとヘルメットの着用

シートベルト・ヘルメットの着用率は向上していますが、夜間の非着用や誤った方法による着用が見られます。

- ① 腰骨にかかるように
 - ② ベルトはよじれないように
 - ③ バックルはカチツと音をさせてヘルメット着用のポイント
 - ④ 正しくかぶり、あごひもを必ずしめる
 - ⑤ 基準に適合したものを使用する
- (JISマーク、Sマーク、SGマーク)
お互いにルールとマナーを守り、思いやりとゆとりをもって悲惨な交通事故をなくしましょう。



利子課税制度が 新しくなりました

四月一日から、預貯金等の利子は、支払いのときに金融機関で一律に二十パーセントが税として徴収されます。このうち五パーセントが住民税として県に納められ、さらに三パーセント相当分が県から市町村に交付されます。

新制度では、これまで利子として扱われていなかった一時払保険等も利子として課税の対象とされます。また、優などの非課税制度は、六十五歳以上の方、母子家庭、身体の不自由な方などを除き原則として廃止されます。
詳しくは、県庁税務課または最寄りの県税事務所へお問い合わせください。

富山県婦人週間の つどい

開催

婦人週間は、今年で四十回を数えます。

これを記念して「四十年の女性のあゆみを二十一世紀へのスプリングボードとして」をテーマに「富山県婦人週間のつどい」を開催します。

●日時
四月十六日(土) 十時～十六時

●場所
富山県教育文化会館ホール

■行事

(1) 目で見るとやまの女性史(スライドと舞台上の人物で構成する富山の女性の四十年史)

(2) 記念講演

テーマ 女性たちの四十年を振り返って



講師 高野悦子(岩波ホール総支配人)

(3) シンポジウム

テーマ 21世紀男女共同社会とやまー女性

シンポジスト(五十音順)

佐藤洋子(朝日新聞編集委員)

西野由香(FMとやまアナウンサー)

坂東真理子(内閣官房参事官)

本田百合子(公認会計士)

山本コータロー(タレント)

※入場は無料です。詳しくは、県庁婦人青少年課へ。

返って

自立する消費者となるために 消費者スクールが開校します。

●共通講座

バイオテクノロジーと消費生活、食べすぎ文明の行方、輸入拡大と私達の暮らし、消費のファッション化、その他

●選択講座(二コース選択)

① 情報化コース(定員約七十人)

② たしかめよう住まいコース(定員約四十人)

③ たしかめよう魚コース(定員約四十人)

●受講方法

五月から二月の間に共通講座五課程、選択講座五課程を受講します。

【応募方法】

はがきで応募してください。

●応募先

〒九三〇 富山市安住町七一八
富山安住町第一生命ビル内 富山県消費生活センター
(☎0764・32・2949)

●応募期限

五月七日(土) 当日消印有効

●受講料

無料

消費者スクール受講申し込み

〒郵便番号
住所
氏名(フリガナ)
年齢
電話番号
希望コース名
(例) 情報化コース

(はがき裏)



2月20日・21日 ゴンドラ雪の祭典

2月23日 省資源・省エネルギー運動富山

県民大会（マリ
エとやま7Fオ
ルビス）



2月24日 富山県農業振興賞表彰式（農協会館）

2月27日 春を呼ぶ花まつり（砺波市農村環境改善センター）

春を呼ぶチューリップ展（花総合センター・
～3月6日）

2月29日 県議会本会議

（～3月24日）



3月4日 高度情報化推進会議（県民会館）

富山の地域にみる作家たち展（県民会館・～3
月20日）

3月9日 日本体育協会理事会・2000年国体開催申請書提出
順位承認

3月11日 富山県の和紙展（富山西武・～3月18日）



3月12日 近代美術館企画展'88富山の美術（～4月10日）

県立大学用地買収に関する賞書調印式



第43回県展作品募集

◆開催期間
六月十一日（土）～十七日（金）

◆会場
富山県民会館

◆搬入日時
六月六日（月）十三時～十八時
七日（火）九時～十八時

◆出品資格
県内在住者及び本県出身者。中学生以下は除く。
※規格等詳しくは、県教育委員会文化課へ。

富山県二級建築士試験・木造建築士試験

◆受験申込書記布期間

四月十一日（月）～四月二十二日（金）

◆受付期間

四月十八日（月）～四月二十二日（金）

◆受付場所

富山市愛宕町二丁目四一五
（旧富山県建築士会）

◆試験期日

・学科試験 七月十日（日）

・設計製図の試験 九月十八日（日）

※詳しくは、（旧富山県建築士会）
（☎0764・33・1254）
または、県庁建築住宅課へ。

放送・電気通信ニューメディアに関する

作文募集

ニューメディアが築くこれからの情報社会に対する期待や夢、楽しい活用方法等について、自由なテーマで作文してください。

◆募集期間

四月一日（金）～五月二十日（金）

◆応募対象

中学生以上二十歳未満（北陸三県在住者）

◆応募方法

四百字詰原稿用紙四～五枚程度にまとめ
〒910 金沢市広坂二二一六十六
北陸電気通信監理局内 高度情報社会推進北陸会議事務局まで
お送りください。
※入選者には賞品をまた、応募者全員に参加賞を進呈します。



文化・スポーツ産業施設整備資金

音楽ホールやカルチャーセンター、テニスコート、スイミングスクール等文化スポーツ施設の整備を行う事業者の方を対象とした融資制度です。

◆資金使途

建物、構築物または設備の設置または改善（土地の取得、造成は含まれません）

◆貸付限度

二千五百万円

◆貸付利率

年四・二パーセント以内

◆貸付期間

建物、構築物 七年以内
設備 五年以内

（据置期間一年以内）

※詳しくは、県庁商工振興課へ



昭和63年4月街頭献血日程

日	曜	場 所	時 間
7	木	入善町役場前	10:00～15:30
9	土	富山市「アピタ」ショッピングセンター前	10:00～16:00
		氷見市ハッピータウン前	10:00～15:30
10	日	富山西武前	10:00～16:00
14	木	新湊市役所前	10:00～15:30
15	金	立山町役場前	10:00～15:30
16	土	富山駅前	10:00～16:00
		砺波市北陸ジャスコ砺波店前	10:00～15:30
17	日	富山市中央通り	10:00～16:00
21	木	庄川町役場前	10:00～15:30
23	土	富山駅前	10:00～16:00
		高岡駅前	10:00～15:30
24	日	高岡駅前	10:00～15:30
		大沢野町役場前	10:00～12:00
28	木	大沢野町図書館前	13:00～15:30
		富山駅前	10:00～16:00
30	土	富山駅前	10:00～16:00
		高岡駅前	10:00～15:30

まだ叙位叙勲を受けていない戦没者遺族と旧軍人軍属（発令済者）の方は届出を！

一、今後の戦争に関する勤務（昭和十五年四月二十九日以降）に従事し、これに関連して死没した旧軍人軍属等に対する叙位叙勲を受けていない遺族

二、定例叙勲の発令が、昭和十五年五月以降昭和二十一年四月までの間に行われたにもかかわらず、勲記または勲記および勲章が伝達されていない旧軍人軍属またはその遺族
三、定期または臨時叙位の発令が、昭和十九年一月以降昭和二十一年四月までの間に行われたにもかかわらず、位記が伝達されていない旧軍人軍属またはその遺族
これらの方々は、この事務が昭和六十四年三月末で概了することとなりますので、できるだけ早く県庁社会福祉課恩給援護係へお申し出ください。

密航者の発見にご協力を

大韓航空機事件と「恩恵」という名前についてご記憶ですか。

その航空機を爆破した犯人は、「日本人名義のバスボートを持った工作員・金賢姫」また、その教育担当者には「日本から致された女性」だと言われています。

過去にも、県内から北朝鮮へ密出国した「水橋事件」などが発生しています。

★沖合に停泊している無灯火の船舶
★沖合で蛇航する無灯火の船外機付ボート

★無人車で人気を気にしながら乗降する者
★沿岸の民宿等で飛込み宿泊をする者

★夜釣りに似合わない服装の人
★連れて海岸へ散歩等に行つたまま、一人しか帰らない宿泊客……

などに注意し、不審点があれば一〇番へ通報してください。

国民年金の保険料が変わりました。

7,400円
▼
7,700円



市町村から送られてくる納付案内書などにより、毎月納め忘れがないようにしましょう。
保険料をまとめて納める前納制度を利用すると便利です。詳しくは、市町村担当窓口へ。

まちなみ

越中八尾、「おわらの里」を井田川沿いに歩いてみると、まだ昔の情緒が漂う石垣が残っている。

苦心をして石を組み、崖縁まで家を建てざるを得ないわけを、勝手に考えてみたくなるような雰囲気がある。

ゴチャゴチャと建ち並んだ家並だが、屋根の瓦や勾配、外壁の色あいなど崖や石垣と妙に調和を保っている。

● 社会のしくみが複雑で、急激に進展する今日、効率性・機能性が優先されることが多い。結果として画一的なものに陥り、人間性や地域性の持つ味は、ますます片隅に追いやられてしまう。

まちづくりにおいてもしかり。

最近、東京をはじめ、大都市を中心とした地価の異常な値上がりが社会問題となっている。このような状況では、その土地に存在するいかなる文化遺産といえど、土地の重みになわなくなるであろう。

八尾の街並のように、長い年月をかけて築かれた生活の遺産は、そう簡単に土地の重みと置き換えられるものではない。

まちなみには文化がある。

そして、文化は生活のうらおい。

絵と文・中 洋生



「Duo-とやまの女性-」

「Duo-とやまの女性-」は昭和五十六年以来毎年四回発行（昭和六十一年までは「とやまの婦人」）しています。

富山県の女性関係施策や諸行事の紹介、女性を取り巻く社会の動向や各種婦人団体の活動状況等を掲載し、21世紀を展望した新たな社会（豊かな男女共同社会）づくりに、県民一人ひとりが取り組んで行くよう、情報提供を行っています。

「Duo-とやまの女性-」

- B5版/8頁
- ご覧になりたい方は、各市町村社会教育担当窓口、または、県庁婦人青少年課まで。

みなさんの相談窓口

県政については	消費生活については	暴力・サラ金などについては
県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内) ☎(0764)31-4111(代) 31-3131(県民電話) 高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内) ☎(0766)21-9411 魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内) ☎(0765)24-5311 砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内) ☎(0763)33-5151	消費生活センター 富山市安住町7-18 安住町第一生命ビル内 〈一般相談は〉 ☎(0764)32-9233 〈金融相談は〉 ☎(0764)33-3252 消費生活センター高岡支所 高岡市本丸町7-1 本丸会館内 ☎(0766)25-2777	暴力・サラ金などについては 困りごと相談所 警察本部防犯少年課 ☎(0764)33-8080 覚せい剤・サラ金相談 警察本部生活保安課 ☎(0764)41-8904 暴力団せり110番 警察本部捜査第二課 ☎(0764)42-0110 このほか各警察署でも受け付けています。



見てください・聞いてください、県からのホットニュース

TV

テレビ広報

- 北日本放送 毎週日曜日 AM8:00~8:30
「こんにちは富山県です」
4/10 二上浄化センター完成
4/17 いきいき富山観光キャンペーン
4/24 理想的な男女共同社会を目指して~婦人週間40周年
5/1 花と緑の日本一は家庭から
- 富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00~9:30
「110万人のひろば-クイズ/フォーカス-イン」

RADIO

ラジオ広報

- FMとやま
「ふれあいホットライン」
県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます。
毎週月~金曜日 AM9:30~9:35

NEWS PAPER

新聞広報

- 北日本、富山、読売、北陸中日
毎週第2土曜日
「県からのお知らせ」
毎月最終土曜日
「みんなの県政」
- 朝日、毎日
毎月第2、最終土曜日
「県からのお知らせ」

編集後記

「歳月人を待たず」
 昨年の春、先輩から広報誌の編集を引き継いで、はや一年がたちました。

慣れない文章と写真の作業に戸惑いつつも、下手な分は機動力でカバー。県内各地を歩き回り、いろんな所で、いろんな体験をすることができました。

「狭い」と思っていた富山にも、面白い事、美しい風景、エネルギーが豊富な人がいっぱい。まだまだ取材のネタは尽きません。

そしてこの春、広報誌は、一部リフレッシュしました。これから、よろしくお願ひします。



いきいき健康。

ひょうご
標語

健康 カレンダーができました。

健康は毎日のちょっとした心がけから……というわけで「健康づくりの知恵」を標語にしたカレンダーができました。——ここでは、ほんのエキスを紹介します。カレンダーをめくりながら、日々の健康づくり、あなたも、ぜひどうぞ!!

4 春が来た。気温も物質代謝も高まれば、
眠気をふきとばして朝食をしっかりとうろう。

5 わが家では、今夜はしょうぶ湯。
ちょっとした工夫で温泉気分。

6 外は雨。それでも運動怠るな。
手足の屈伸、腹筋運動。

7 清潔・じん速・加熱をまもって食中毒予防。

8 お風呂はぬるめでゆったりと。
お湯の中でも手足の屈伸。

9 睡眠は深さが大切。ぐっすりと。
過労、夜ふかしは安眠の敵。

10 趣味やスポーツは心の栄養。

11 つい食べすぎに注意して。
満腹胃袋、赤信号。

12 減塩のうす味に慣れて、ますます健康体。

1 お正月、つい飲みすぎは
成人病の引き金に。

2 こたつで間食、運動不足。
春になったら肥満体!?

3 身を守る、週に二日の休肝日。



富山県